

新型コロナウイルスの状況と対応について

◆「特別養護老人ホームいきいき箱崎」の二階東ユニット及び三階東ユニットで二月十五日から二月二十五日にかけて発生した新型コロナウイルス感染は、三月十三日をもってすべての入所者様の健康観察期間を終了し、通常の運営体制にもどりました。
この間の延べ感染者数は、入所者様・利用者様十七名、職員四名の計二十一名でした。
ご家族様や関係者の皆様にはご心配をおかけいたしました。今後もし引き続き感染対策をすすめてまいります。

◆政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が変更され、令和五年三月十三日以降、マスク着用は個人の判断に委ねるとの方針になりましたが、重症化リスクが高い方が多く生活する高齢者福祉施設についてはマスク着用が推奨されています。
当法人の施設・事業所に面会等で来訪される方については、感染予防のため、これまで通りマスク着用をお願い致します。



生け花でおしゃれな空間づくり

特別養護老人ホームいきいき八田一丁目東ユニットでは生け花を行いました。おひな様飾りと合わせて、華やかな空間づくりができました。春の到来も間近です。



折り紙サークル

いきいき箱崎デイサービスでは、折り紙サークルを月に二回程度実施しています。季節に合わせた花や行事の作品をご希望の利用者と一緒に作っています。
今月はおひな様飾りをみんなでつくりました。
毎月楽しみにしていただいています。



シリーズ『介護保険制度をめぐる動き』第3回

今回は、介護人材（介護職員）の現状についてお話しします。利用者様に介護サービスを提供する上で介護職員は必要不可欠ですが、全国的な介護人材不足が問題となっています。2019年度時点の全国の介護職員数は約211万人ですが、2025年度には約32万人、2040年度には約69万人不足すると予測されています。2020年時点の全産業の有効求人倍率が1.1倍に対し、施設の介護職員は3.9倍、ホームヘルパーにいたっては14.9倍です。ハローワークからの応募はほとんどなく、派遣や人材紹介に頼らざるを得ない状況です。

社会にとって必要な介護職員、そして介護保険制度、政府・厚生労働省は充実させる気がないように感じるのは、わたしだけでしょうか。



介護ウェブ(介護制度の改善を求める街頭行動)の様子(福岡市中央区天神)